

「すべての世代が住み続けたいまち 青葉」 まちの未来プロジェクト

青葉区民会議

発表概要：

1) 青葉区民会議の説明

青葉区民会議の現在を支えるもの、青葉区の未来を創るもの

- ・青葉区民会議は、活動の基盤を「広聴」と「政策提言」に置きます。

この活動こそが市民(区民)がまちづくり(行政の政策策定)へ直接的に参画ができる機会だと考えています。

- ・区民意見を政策提言に活かすためには、区民の意見を幅広く聞く「広聴活動」が欠かせません。

広聴活動として、直接ヒアリングを行う、アンケートを実施する、団体と意見交換を行う、講演会やつどいなど区民参加の場を提供し、意見を集めるなどを行っています。

また、区が行う「区民意識調査」も利用します。

市が行っているe アンケートにも委員は積極的に参加し、データを利用します。

- ・政策提言は横浜市予算(次年度の事業計画)への提言です。 分野別に政策提言を作成します。

政策提言とするためには行政との意見交換や調査を行います。

2) 「まちの未来プロジェクト」とは

未来プロジェクトは青葉区民会議の活動の流れを最も表していますので紹介します。

- ・2009年12月に始まったプロジェクトです。

- ・目的は、横浜市都市計画マスタープラン・青葉区プランの改定時期(2012年)までに青葉区民の考えをまとめ、青葉区民の望む「未来の青葉区」提案を提示することです。

- ・2002年に策定された青葉区プランに描かれた「青葉区の未来」をそのまま今も望むのか、あるいは今新たに何かを考えなくてはならないのか・・・特に3.11東日本大震災が起き、ライフスタイルそのものの見直しが求められている今、「私たちのまちは私たちが創る」という考えで、青葉区のまちづくりの基本となる「青葉区プラン」への政策提言を進めています。

3) まちの未来プロジェクトの紹介

- ・青葉区の現状や未来を知るための勉強会を続けました(第8期では26回の会議を行いました)

- ・区民意識調査から、青葉区の魅力や、不満・不平から見える青葉区の課題をさらに1000人アンケートを区民へ実施することで、青葉区民の考えを知ることができました。

その結果からさらに「まちづくり」への提言として取り扱うことができるものを絞り12項目にまとめることとしました。

- ・さらに区民のつどいで区民意見を集め、最終提言に反映し、提出準備を行っています。

(H23 12月頃を目途に提出をします)

4) 提案は12項目ありますが、その一部を今回紹介します。

- ・青葉区の緑を守る提言へ (田園と都市 緑を守るまち)
- ・青葉区の育児環境への提言へ (子育てしやすいまち)
- ・青葉区の安全で美しいまちへの提言へ (安全に安心して暮らせるまち)

《青葉区民がのぞむ未来のまち》

12項目の大分類は：

子育てしやすいまち

高齢者にも住みやすいまち

安全に安心して暮らせるまち

田園と都市 緑を守るまち

## 第37回区民会議交流会 旭区発表テーマ概要版

当日発表者：澤木 優輔

### 発表テーマ：「防災について」

防災拠点を中心に、拠点を支える関係者の方々が円滑に業務を行うために、どのような工夫をしながら、「防災のひとづくり」を行っているのかという観点から検討をした内容について、これまでの活動状況を交えながら発表します。

### 当日発表する活動状況一覧（予定）

- ・ 避難所運営ゲーム（HUG）を用いた防災拠点のシミュレーション
- ・ 防災拠点におけるひとづくりについて東希望が丘小学校の取り組みを学校長へヒアリング
- ・ 緑区白山地区の防災活動について関係者へヒアリング
- ・ 災害時における個人情報取扱方法について検討
- ・ 旭区防災計画と区役所の災害対策の現状を含めた、これまでの災害対策の振り返り

### 今回の発表を通して伝えたいこと

- ・ 3月の震災時に得た教訓と課題
- ・ 防災教育の効果について
- ・ 「防災のひとづくり」として追求すべき2つの観点と旭区民会議としての提言

## 第 37 回区民会議交流会「発表テーマ」概要

保土ヶ谷区民会議

- 1 発表テーマ 「防災:災害時の自助・共助・公助について」
- 2 発表者 代表委員 畑尻 明
- 3 発表テーマ概要
  - ① 第 18 期(下期 平成 22 年度)活動推進でのトピック ニュース
    - ・ 「ハヤシランチミーティング」で市長と面談
    - ・ 大阪市東成区「未来わがまちフォーラム」にパネリストとして参加
    - ・ その他
  - ② 災害対策をテーマに「地域のつどい」を 区内 6 地域で開催
    - ・ 参加者数や発言者数 各会場の様子など
    - ・ 会場での意見 提言 要望など 3 つに分類主なもの紹介
    - ・ 行政への提言 要望に対する 回答の主なもの紹介
  - ③ 「区民のつどい」の様子 “強いきずな みんなでつくろう 安心のまち”
  - ④ 「大震災をふまえ 区民会議として 何ができるか」
    - ・ 各分科会での取組みについて
    - ・ 具体例として  
区内小学校3校による「東日本大震災に関するアンケート」  
集約結果発表 831名(2年 4年 6年)から
  - ⑤ 「自助・共助・公助」について
    - ・ 「地域のつどい 区民のつどい」からの意見などをもとに あらためて  
みんなで考え 話合い 行動する
  - ⑥ まとめ

### 第37回区民会議交流会「発表テーマ」

- ・港北区発表テーマ 第19期「港北まちづくり区民の会」の活動状況と今後の課題
- ・発表者 大貫保範（運営委員）

#### 1. 活動状況

##### (1) 活動の基本方針

第19期「港北まちづくり区民の会(H23.4.1-H25.3.31)」は、新しい「区民の会」を目指して「協調と自立」をコンセプトに以下5つの思いを基本に活動しています。

- ① 港北区を、より住みよい町にしたい
- ② 自分の生きがいを見つけたい
- ③ 自己成長の糧としたい
- ④ 楽しく働き、良い友人を沢山作りたい
- ⑤ 自分たちの意見を行政に反映させたい

##### (2) 活動の内容

「提言型の活動」と「活動型」の活動に取り組んでいます。

- ① 提言型とは調査、学習による現状把握を基に  
→問題点整理  
→改善案提言
- ② 活動型とはボランティア活動を基に  
→ネットワーク普及拡大  
→改善提言

##### (3) 具体的な活動

- ① 環境、ゴミ問題を考えるまちづくり
  - ・ ゴミ問題
  - ・ 景観問題（緑地里山の再生、電柱の地下化、景観の統一）
  - ・ 鶴見川（浄化対策、防災対策、関係団体）
  - ・ 相鉄東急直通線の環境影響評価
  - ・ 環境将来、福祉施策
  - ・ 跡地問題（パナソニック跡地活性化と住民意見集約）
- ② 道路、交通、防災を考えるまちづくり
  - ・ 駐輪場、自転車走行マナー
  - ・ 生活道路（会談道路、歩道上電柱、傾斜歩道）
  - ・ 狭隘道路の一方通行化
  - ・ 道路に関する防犯問題
  - ・ 駅周辺の交通問題
  - ・ 港北区内の宅地液状化問題
- ③ 福祉、医療、介護を考えるまちづくり
  - ・ 老人介護施設車椅子クリーニングの普及
  - ・ 子育て支援、待機児童の問題
  - ・ 区内在留外国人と医療の現状、問題点の改善提案
- ④ 区プラン、その他
  - ・ 都市マスタープランの区プラン
  - ・ 中期4ヶ年計画
  - ・ ひっとプラン
  - ・ マンションの自治会参加と活性化
  - ・ 駅周辺、町を活性化する取り組み
  - ・ 会のあり方と自治会との連携
  - ・ その他

#### 2. 今後の課題

- (1) 「港北まちづくり区民の会」は、今期一杯で行政（港北区役所）の支援は打ち切れ、自立を求められています。
- (2) 従って、今期の活動を基に次期「区民の会」の組織のあり方、借料を含めた定例会議の会場確保、広報誌発行に必要な事務経費の確保等課題が山積みであり、どのように解決していくかが喫緊の課題となっています。

### 第37回区民会議交流会での神奈川区民協議会の発表内容 ダイジェスト版！

#### 「地域のつどい」での意見から 『活動テーマ』を発掘することのメリットについて

従来は、1期2年の活動態勢の中で、新期の委員を募集してから皆で協議し、部会としての「活動テーマ」を決めていましたので、実際にテーマが決定しスタートするまで2～3ヶ月の時間ロスがありました。更には、決まったテーマに満足できない委員は部会活動への欠席が多く、結果退会することも多々ありました。部会委員の出席率の低下や、委員への応募の減少が一時期問題になりました。

そのような折、瀬谷区の区民会議と交流会を持つことができ、先方の活動の状況を伺うことがきっかけとなって、神奈川区で年に数箇所（連合自治会単位）開催してきた「地域のつどい」の取り組み方を見直すことにしました。それまでは「地域のつどい」での話し合いのテーマを、予め地域住民に決めていただき、集まっていたいていましたが、事前のテーマ設定をやめて、『今、みなさんの地域で生活するにあたり、お困りのことは何ですか？何とか一緒に解決しようではありませんか！』と声掛けをしたところ、沢山の身近なお困りごとが上がって来たのです。それらを集約しますと、その内容は、同じ区内であってもこれだけ悩みごとが異なるのか、と驚かされるものでしたが、反面どの地域でも共通して見られる問題も多く、それらの意見から、区民協議会の部会活動として展開できそうなテーマを拾い出すことができました。

結果として5つのテーマが決定し、このテーマを基に委員を募集したところ、60人を超える参加者を得ることができ、人気のなかった1テーマを除く4つのテーマで、部会活動を昨年7月よりスタートし、部会への出席率も安定し現在に至っています。今年の7月2日（土）には、活動の中間発表としての「区民のつどい」を神奈川公会堂にて開催し、参加された方々から95枚の「意見票」（1枚に複数意見の記載あり・昨年までは15～6枚程度）をお寄せいただきました。中には、「地域でのお困りごとから活動のテーマを決定したことがよかったのでは。だから有意義な活動になったし、今回のつどいも成功し、参加者の期待も大きい。」とのご意見もあり、今期の活動が成功裏に進んできたことを実感しています。各部会はこの意見票の内容で、該当するものがあれば参考にし、来年で今期が終了するにあたり、どのような提言をしようか着地点を探し活動しております。なお、当日は、その意見票のいくつかをご紹介します。

また、当日は、テーマの設定に至るまでの「地域のつどい」で上げられた問題点の仕分けの仕方や、テーマをより具体的に設定したことによる部会活動の成功例などもお話し致します。

以上

神奈川区民協議会